

編集後記

長年編集委員としてお世話になりましたが、本年3月末をもって卒業いたします。専門分野が異なる先生と一緒に編集企画を考えるという経験は、とても刺激になり勉強になりました。大変楽しい経験でした。また、この編集後記は、私の『眼科』編集委員としての最後のものになります。私にとってはめでたい(?)最後の編集後記に相応しい何か楽しい話題を書きたかったのですが(たとえば、冬季オリンピックでのカーリング女子の大活躍とか)、ロシアがウクライナに侵攻したというショッキングなニュースが飛び込んできました。映像で見る限り、侵攻前の美しいキエフの建物がミサイルで破壊されており、あの痛ましい東北地方の大震災の光景と重なり、胸が苦しくなります。自然災害ではなく、人間が起こした愚かしい行為だけに強い怒りも覚えます。何故このようなことをしなければならなかったのか、「他に選択肢はなかった」は、あまりにも身勝手な言い訳だと思います。ウクライナに早く平和が戻ることを、心から祈っています。コロナ

のオミクロン株もまだ予断を許しません。ため息ばかりです。

さて、気を取り直して、3月号はいかがでしたでしょうか。特集は「眼瞼下垂の外科的治療」です。写真入りで詳細に術式が解説されており、これから勉強を始める方には格好の指南書になると思います。綜説は、3D手術と小児ぶどう膜炎の話題で、知識の整理にととても良い内容です。シリーズ“豚眼の解剖”は7回目となり今回は、網膜です。OCT画像をみる時に役立つかもしれません。投稿論文は原著論文、症例報告が1本ずつ。私の経験が2本です。『眼科』は、他誌と比べても図表が美しく、見出しなどの構成も見やすく綺麗だと思います。さすが長年の伝統があるのだなあと、今更ながら感心しています。

それでは皆様、長い間有難うございました。引き続き『眼科』をご愛顧いただきますよう、よろしくお願ひいたします。

(富田剛司・記)

編集：富田剛司・後藤 浩・飯田知弘・雑賀司珠也・門之園一明・石川 均・根岸一乃
編集顧問：所 敬・小口芳久・臼井正彦・澤 充・谷原秀信・岸 章治・三村 治・飯島裕幸・坪田一男

「眼科」 第64巻 第3号 3月号

2022年3月5日発行(毎月1回5日発行)

定価 3,080 円(本体 2,800 円+税 10%)

年間講読料金

定価 46,310 円(本体 42,100 円+税 10%)

[年間 13 冊(臨時増刊号を含む)の誌代]

[年間予約購読者に限り送料無料]

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

Tel 03 (3811) 7165 [編集室直通]

Tel 03 (3811) 7184 [営業部直通]

FAX 03 (3813) 0288

ホームページ www.kanehara-shuppan.co.jp

振替口座 00130-1-191269

印刷所 横山印刷株式会社 Tel 03 (3622) 6161

広告申込先 福田商店 Tel 06 (6941) 5600

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権(送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(Tel: 03-5244-5088, FAX: 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。